



1. 全中貿兵庫連盟経済講演会

全中貿兵庫連盟では、2月15日(金)に経済講演会を開催しました。演題と講師と講演内容は以下の通りです。

【第1部】

「ブロックチェーン技術の貿易業務への適用に向けた取り組み」

◆講師：(株)NTTデータ 第二公共事業部

第一営業担当 部長 かわだ ぜん 河田 禅 氏

主な内容：貿易情報の共有化のため、透明性・安全性の高いブロックチェーンを活用したシステムで行う仕組みを説明いただきました。



▲講師 河田氏

【第2部】

「貿易の手続あれこれ」

～貿易の流れ、色々なルール、TPP11等～

◆講師：株式会社 ミック

顧問 まえだ まさよし 前田 正義 氏

主な内容：輸出・輸入に関わる税率の適用基準のケーススタディなど、TPP や EPA を利用するメリットを説明いただきました。



▲講師 前田氏



▲兵庫連盟小泉理事長のあいさつ



▲会場の様子

2. 2019年 日本と世界の主要イベント

平成 31 年1月～2月号

日本貿易会月報

	日本	世界
1月	<ul style="list-style-type: none"> 国際観光旅客税(出国税)導入 (7日) 安部首相がオランダ、英国を訪問 (9-11日) 環太平洋経済連携協定 (TPP)委員会第1回会合 東京 (19日) 日露首脳会談 モスクワ (21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界経済フォーラム年次総会 スイス・ダボス (22-25日) 日米欧通商閣僚会合 米国・ワシントン (9日) 英国下院 EU 離脱協定案の批准期限 (21日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> 日 EU 経済連携協定(EPA)発効 (1日) 	<ul style="list-style-type: none"> 米国が、ロシアの中距離核戦力(INF)全廃条約の順守措置を見極める期限 (2日) タイ総選挙 (24日)
3月		<ul style="list-style-type: none"> 米中貿易協議交渉期限 (1日) 韓国の 3・1 独立運動 100 周年 (1日) 中国の全国人民代表大会開幕 (5日～) 英国の EU 離脱 (29日) ウクライナ大統領選挙 (31日)
4月	<ul style="list-style-type: none"> 新元号決定・公表 (1日) 働き方改革関連法が順次施行 (1日) 改正出入国管理法が施行 (1日) 第 19 回統一地方選挙 (7, 21日) 天皇陛下退位 (30日) 	<ul style="list-style-type: none"> イスラエル総選挙 (9日) IMF・世界銀行春季総会 米国・ワシントン (12-14日) インドネシア大統領・議会選挙 (17日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 新天皇陛下即位・改元 (1日) 国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)総会 京都 (8-12日) 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の 5・4 運動 100 周年 (4日) ベルギー総選挙 (26日) 欧州議会選挙 (23-26日) 豪州総選挙 (月内)
6月	<ul style="list-style-type: none"> G20 首脳会議 大阪 (28-29日) 国際捕鯨委員会脱退 (30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ASEAN 首脳会議 タイ (22-23日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 参議院議員任期満了 (28日) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 第 7 回アフリカ開発会議 (TICADVII) 横浜 (28-30日) 	<ul style="list-style-type: none"> G7 首脳会議 フランス・ビアリッツ (24-26日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ラグビー・ワールドカップ日本大会 (20日-11月2日) 	<ul style="list-style-type: none"> 第 74 回国連総会 米国・ニューヨーク (17日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 消費税税率 10%に引き上げ (1日) 即位礼正殿の儀 (22日) 	<ul style="list-style-type: none"> IMF・世界銀行年次総会 米国・ワシントン (18-20日) スイス総選挙 (20日) ギリシャ総選挙実施期限 (20日) アルゼンチン大統領・議会選挙 (27日) 欧州中央銀行(ECB)、ドラギ総裁任期 (31日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 大嘗祭 (14-15日) 	<ul style="list-style-type: none"> 第 25 回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP25) チリ (11-22日) APEC 首脳会議 チリ・サンティアゴ (16-17日) 東アジア首脳会議 (月内)
12月		

東南アジア 3 ヶ国・24 社 中小企業 98 社と商談 287 件

中小機構は1月 16 日から3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで、インドネシア・タイ・ベトナムの東南アジア 3カ国から招いた自動車部品関連 24 社の経営者(CEO)らと日本の中小企業との「自動車CEO商談会」を開催した。自動車産業分野で海外企業と取引したい日本のものづくり中小企業 98 社が参加し、287件の活発な商談を展開した。

タイでワイヤーハーネス(電線の集合部品)やアルミ鋳造品を製造しているS. P. オート・プロダクト(コーンケン県ナンボン市)は、日本企業との合弁会社設立を視野に入れ、柔軟な意見交換を望んでいる。日本企業の高い技術力を活かして高品質の部品を製造し、日本の自動車メーカーに供給する計画。昨年新たに買収した工場の稼働率向上が主な目的。パロン・ティラパヌ代表取締役は「商談を円滑に進めるため、当社の情報を広く事前開示してくれた事務局に感謝している。次回も参加したい」と語った。



商談に熱の入る会場

ベトナムで2輪車部品製造を主力としている

フォー・イエン・メカニカル(タイグエン省フォーイエン郡)は、自動車部品の製造技術を得るため、自動車メーカーに部品を供給している日本企業に技術供与を求めている。同国の庶民の移動手段の主流が2輪車から近年需要が増大している自動車に移っていくとの判断からだ。グエン・ドック・チュン取締役副社長は「自動車部品産業へは、2輪車部品の製造で培ったプレス加工と溶接で参入したい。将来は電装部品の製造技術も身に着けたい。高精細な仕上がりが期待できることから日本製の工具や検査治具の輸入にも関心がある」と話した。

インドネシアで金属部品の金型を製造し、日本企業とも取引実績のあるビンタン・マトリクス(西ジャワ州ブカシ市)は、日本の自動車部品メーカーからの増産注文に期待している。これまでは主にドアや屋根など主要部品を車体に接合する部品の金型加工を受注してきたが、部品の種類を問わず受注を拡大する方針。ロバート・スサント代表取締役は「商談では新たな事業プランを見出すなど想定を上回る収穫を得た。他国の同業者と帰国後も情報交換できる関係を築けたことは大きな副産物。隣接する会場の展示会でも情報を収集できて幸運だった」と語った。

同商談会は、スマート工場・スマート物流を実現するためのIoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)など最新技術の専門展「第3回スマート工場EXPO」の会場内で開催された。

会場入り口付近には海外企業および同社の選定で協力を得たインドネシア工業省中小企業総局、タイ工業省産業振興局、ベトナム商工会議所の事業概要や日本企業への要望事項を説明するパネル展示コーナーを設置し、商談予約が取れなかった企業への情報提供にも配慮した。



▶本ニュースに関するご照会・ご意見等は、全中貿事務局（大洋株式会社内）鹿内 までお願いします。
全中貿事務局 **TEL/ 06-6443-5810** **E-MAIL / zenchubo.jimukyoku@jafta.jp**